

令和元年度
網走市における景気動向調査
<第Ⅱ四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領	
1-1. 調査時点及び調査対象期間	1
1-2. 調査対象	1
1-3. 調査方法	1
1-4. 回収状況	1
第2章 概況	
2-1. 全体の動き	2
2-2. 業種別の動き	3
第3章 各判断項目回答割合と天気図	
3-1. 記号説明	4
3-2. 業況	4
3-3. 採算	10
第4章 産業別経営上の問題点	
4-1. 回答実数	11
4-2. 回答割合	11
第5章 産業別設備投資の状況	12
第6章 業界の景気動向等その他のご意見	13

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：令和元年7月1日(月)～元年9月30日(月)
- (2) 調査対象期間：令和元年7月～9月期実施、及び令和元年10月～12月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（23件）、卸売業（20件）、小売業（39件）、サービス業（44件）の156社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

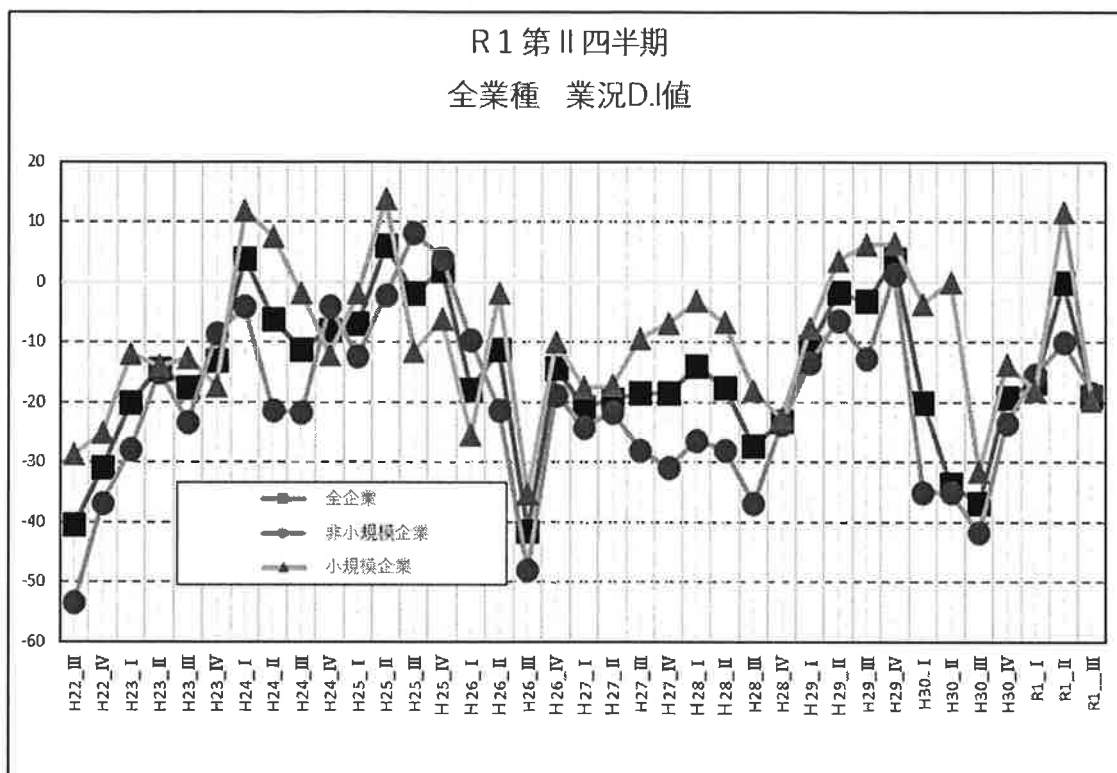
1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		30件	23件 (非小規模企業:12件) (小規模企業:11件)	76.7%
製造業		23件	13件 (非小規模企業:7件) (小規模企業:6件)	56.5%
卸売業		20件	15件 (非小規模企業:10件) (小規模企業:5件)	75.0%
小売業		39件	28件 (非小規模企業:15件) (小規模企業:13件)	71.8%
サービス業		44件	33件 (非小規模企業:17件) (小規模企業:16件)	75.0%
合計		156件	112件	71.8%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業、小売業、サービス業は5人以下）を示している。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



令和元年度第II四半期（7月～9月）の業況は、前年同月対比で「好転企業」26.1%「悪化企業」26.1%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は0で前期に比べ16.5ポイント大きく改善しました。これまで5期連続でマイナス水準にありましたが、6期ぶりに解消された形となりました。

業種別で見た業況は、サービス業が34.1ポイント改善し15.6、製造業が13.6ポイント改善の7.7、建設業は25.1ポイント改善し4.3、小売業については9.7ポイント改善の△17.9、卸売業は1.4ポイント悪化し△21.4と、卸売業を除いた他の業種はすべて改善傾向を示しました。特に、サービス業、製造業、建設業は大きく改善しプラスに転じました。

次期（10月～12月）の業況判断D.I値は、今期と比べ18.9ポイント悪化し▲18.9を予想しており、今期マイナス水準が解消されたものの再びマイナスにもどる厳しい予想となりました。

業種別では卸売業0で21.4ポイント大きく改善の予想を立てているものの、それ以外の業種では製造業△7.7、建設業△17.4、サービス業△24.2、小売業△28.5とそれぞれ大きく悪化するとしています。

経営上の問題点としては「人材不足」が全体の58.3%を占め、第I四半期との比較で0.9%改善したものの依然解消されていなく深刻さは継続している状況にあります。また、「人件費増」「得意先（客足）の減少」を問題にしている企業が増加傾向にあります。

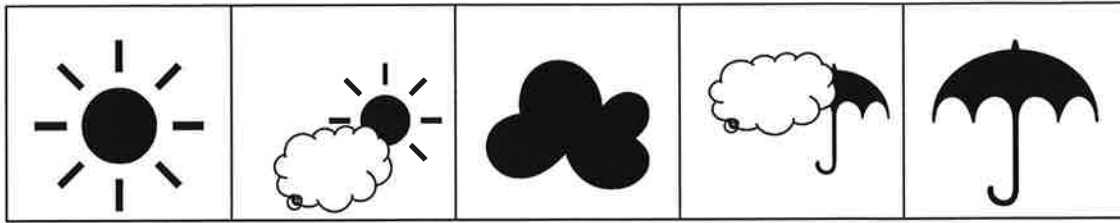
全体としては、6期ぶりにマイナス水準が解消されましたが、次期業況においては再びマイナス水準に逆戻りする予想となり、先行きに不透明感があります。特に来期は消費税増税、軽減税率制度の導入時期とも重なり、依然として予断を許さない状況にあるといえ、全業種とも経営改善に向けた対応が強く求められています。

2-2. 業種別の動き

業種	規模/項目	売上高 (建設業は完成工事高)			採算			次期 (D.I値)		
		増加	減少	DI	増加	減少	DI	業況	売上	資金繰り
建設業	小規模	36.4	18.2	18.2	14.3	21.4	-7.1	-18.2	-36.4	-18.2
	非小規模	25.0	50.0	-25.0	25.0	41.7	-16.7	-16.7	-8.3	8.3
	全体	30.4	34.8	-4.4	19.2	30.8	-11.6	-17.4	-21.7	-4.3
製造業	小規模	16.7	33.3	-16.6	0.0	25.0	-25.0	-50.0	-50.0	0.0
	非小規模	28.6	28.6	0.0	50.0	33.3	16.7	28.6	28.6	14.3
	全体	23.1	30.8	-7.7	21.4	28.6	-7.2	-7.7	-7.7	7.7
卸売業	小規模	20.0	60.0	-40.0	0.0	57.1	-57.1	0.0	-14.3	-20.0
	非小規模	11.1	55.6	-44.5	0.0	41.7	-41.7	0.0	-11.1	-10.0
	全体	14.3	57.1	-42.8	0.0	47.4	-47.4	0.0	-20.0	-13.3
小売業	小規模	15.4	30.8	-15.4	10.0	10.0	0.0	-30.8	-15.4	-30.8
	非小規模	33.3	53.3	-20.0	21.4	38.6	-17.2	-26.7	-40.0	-20.0
	全体	25.0	42.3	-17.3	12.9	16.1	-3.2	-28.6	-28.6	-25.0
サービス業	小規模	50.0	12.5	37.5	26.7	0.0	26.7	-6.3	-12.5	-6.3
	非小規模	47.1	35.3	11.8	38.5	0.0	38.5	-41.2	-35.3	-11.8
	全体	48.5	24.2	24.3	32.1	0.0	32.1	-24.2	-24.2	-9.1

第3章 各判断項目回答割合と天気図

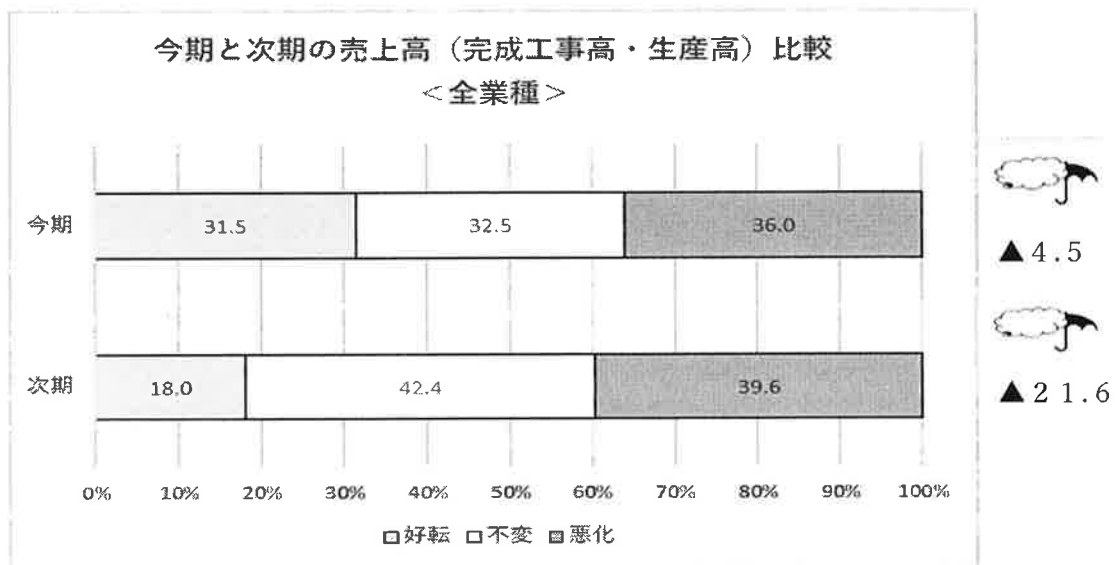
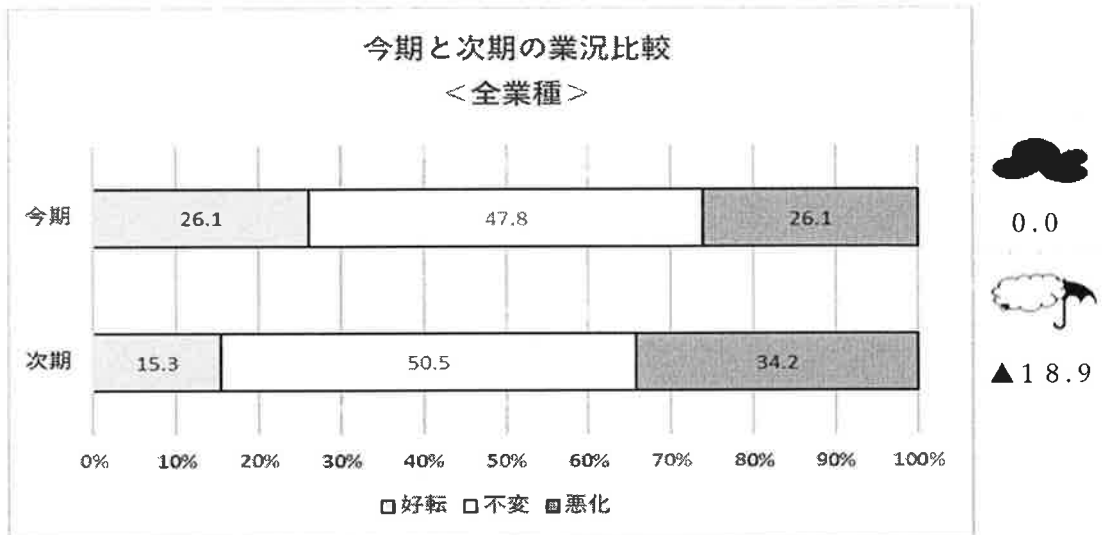
3-1.記号説明

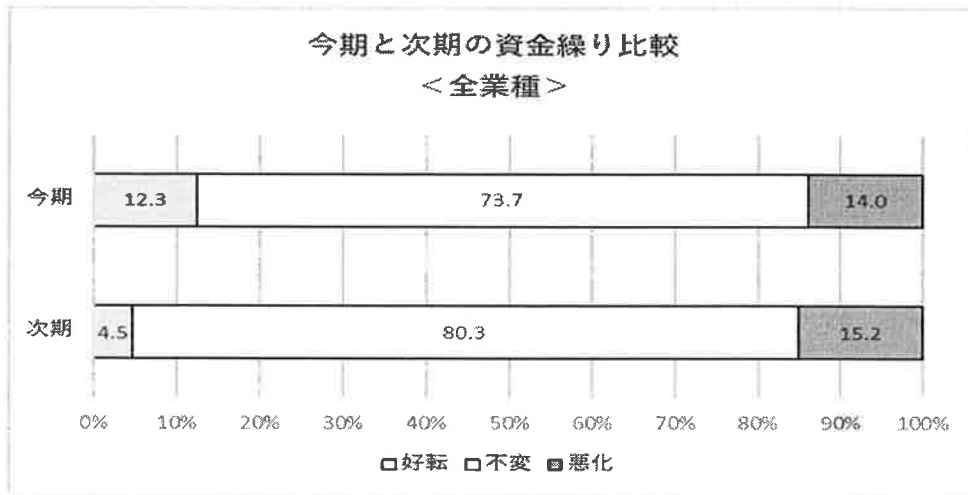


とくに好調 (D.I. ≥ 50) 好 調 (50 > D.I. ≥ 25) まあまあ (25 > D.I. ≥ 0) 不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25) きわめて不振 (▲25 > D.I.)

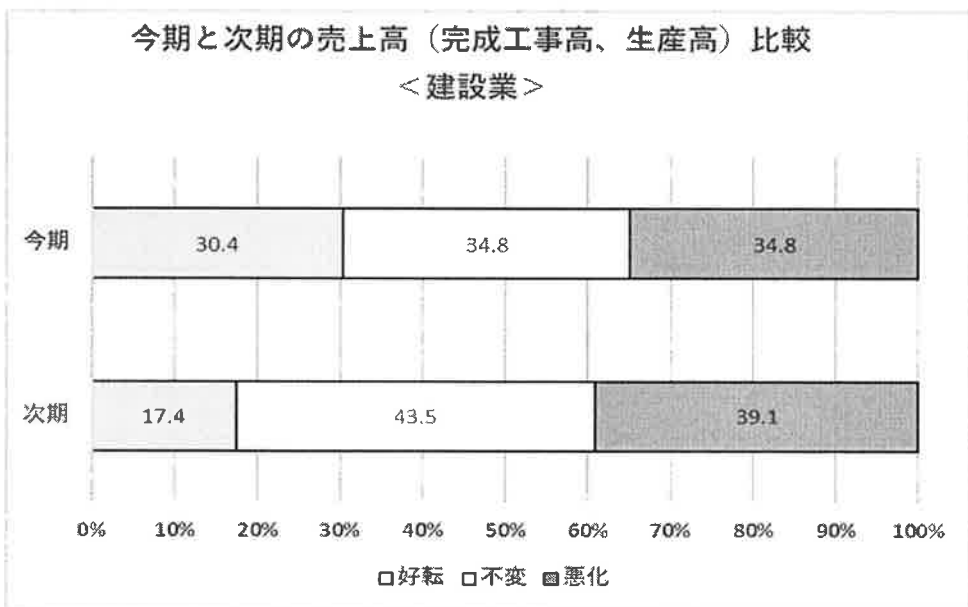
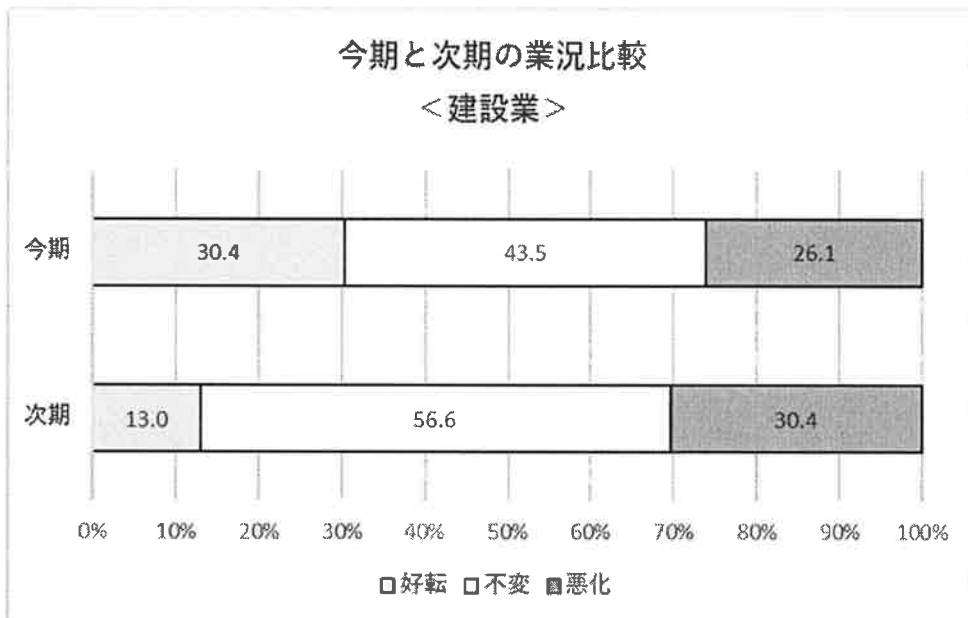
3-2. 業況

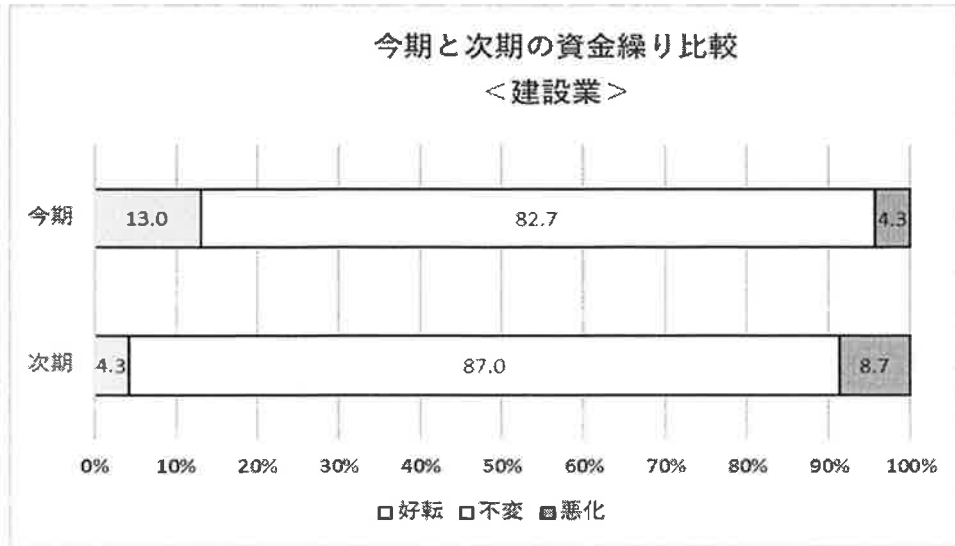
全業種





建設業



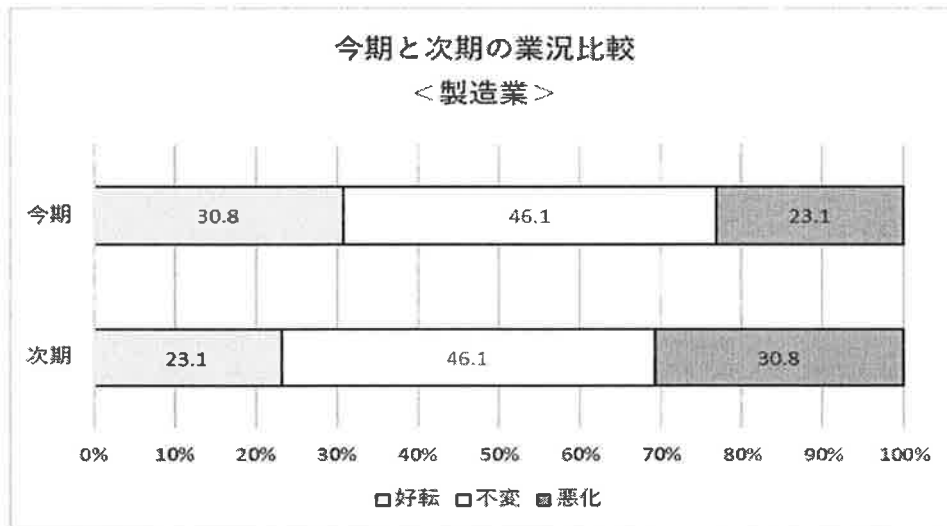


8.7



▲ 4.4

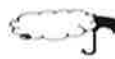
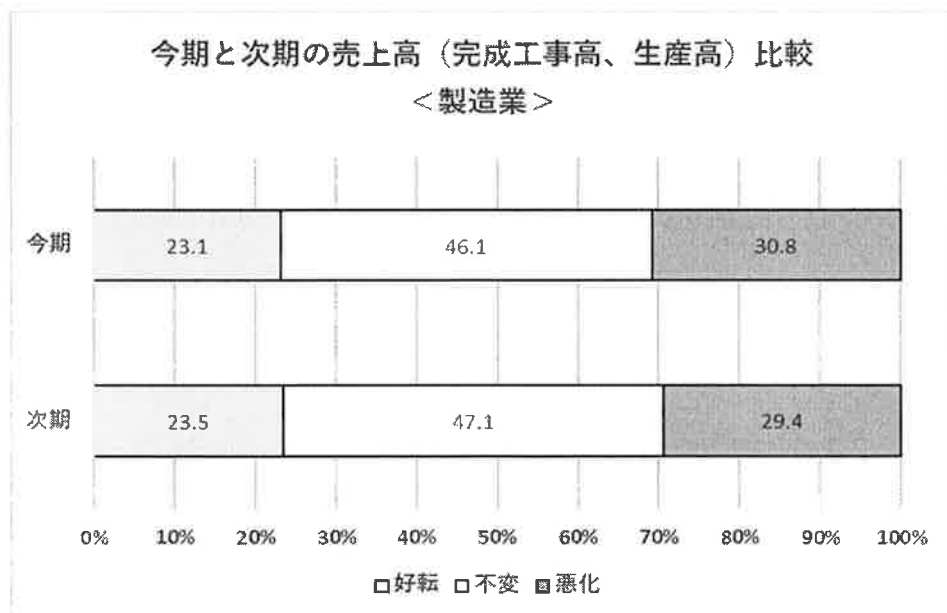
製造業



7.7



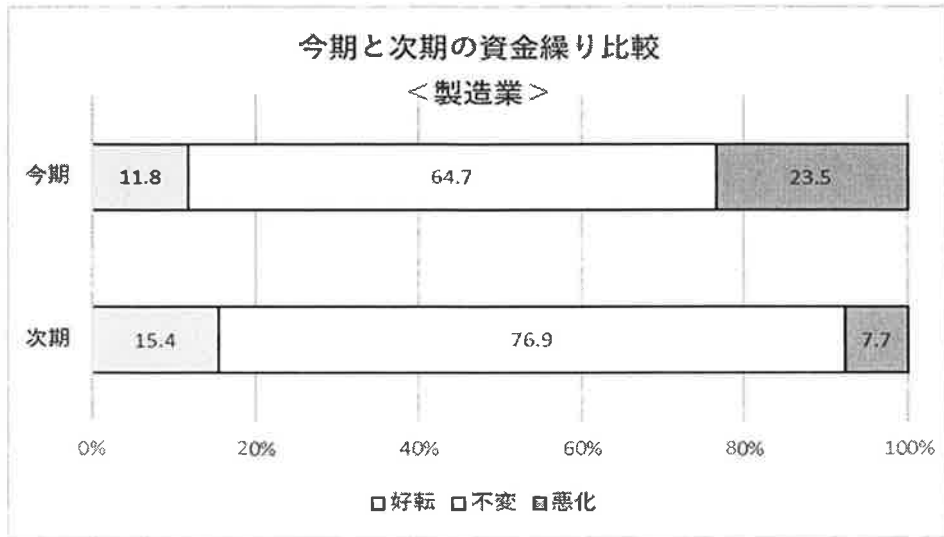
▲ 7.7



▲ 7.7



▲ 5.9

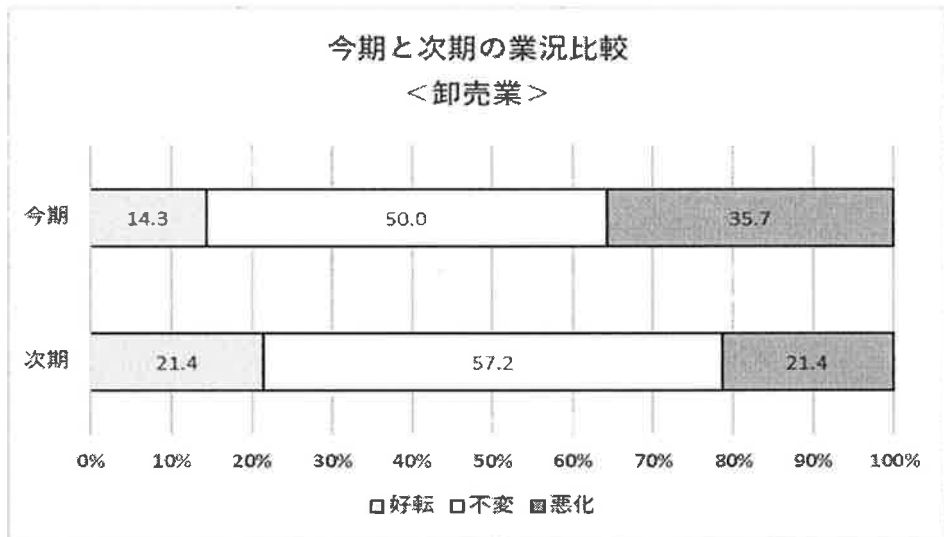


▲11.7



7.7

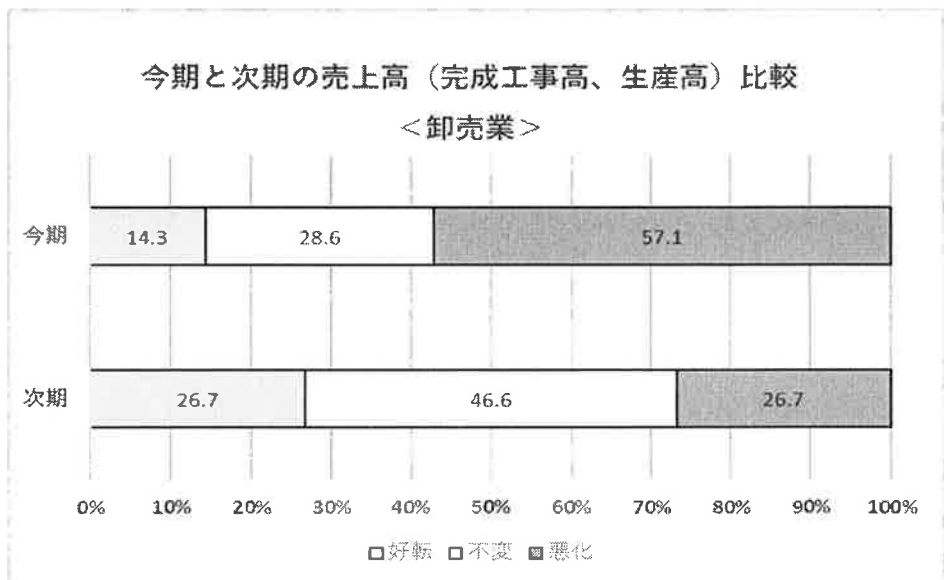
卸売業



▲21.4



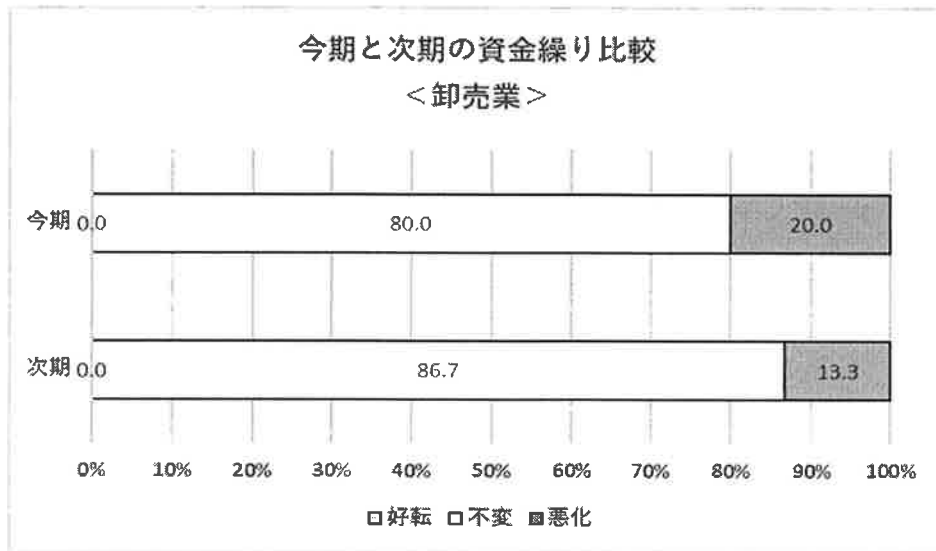
0.0



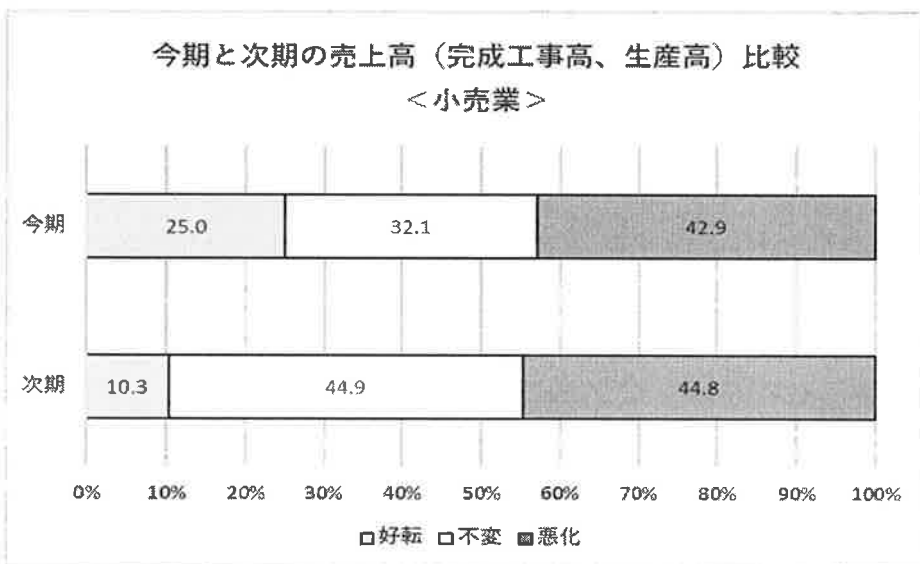
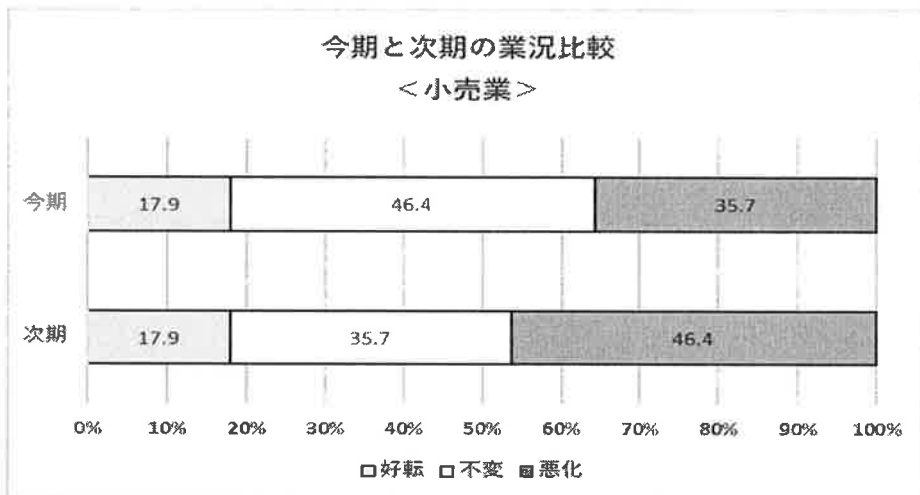
▲42.8

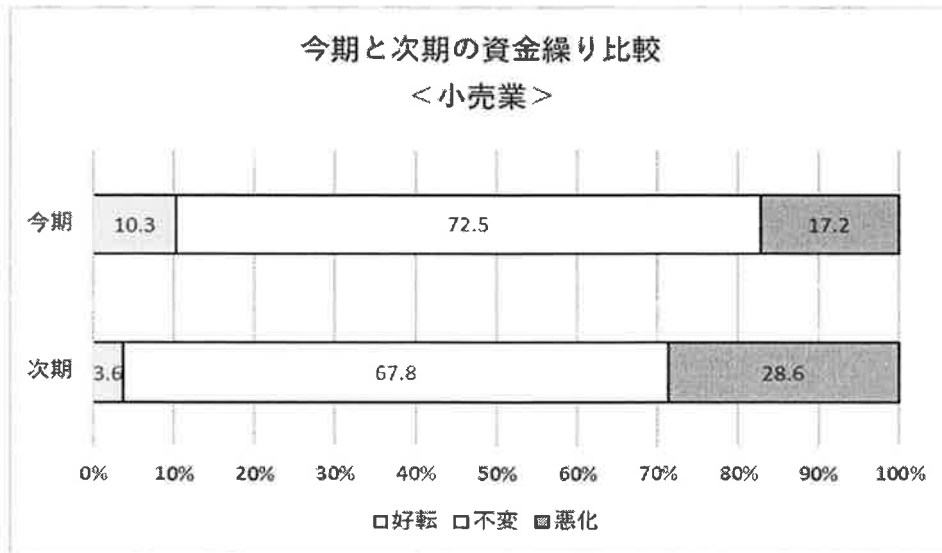


0.0



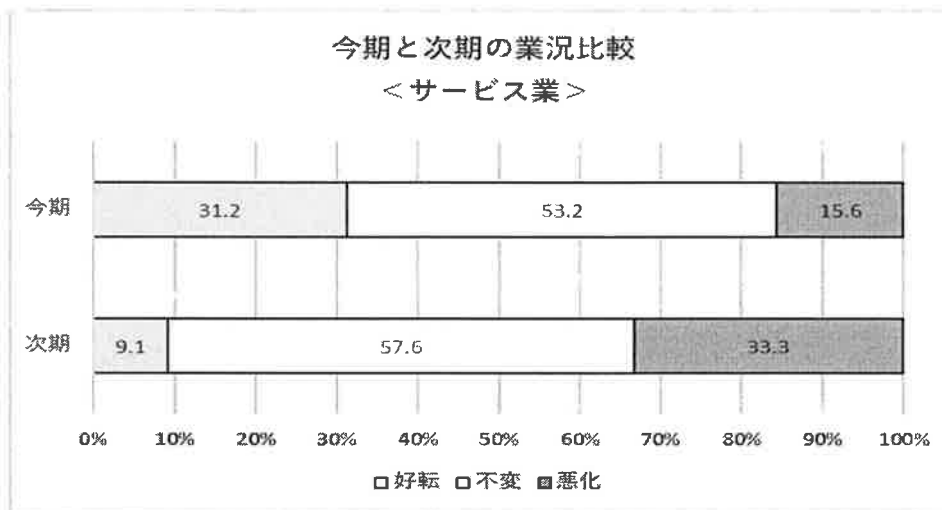
小売業



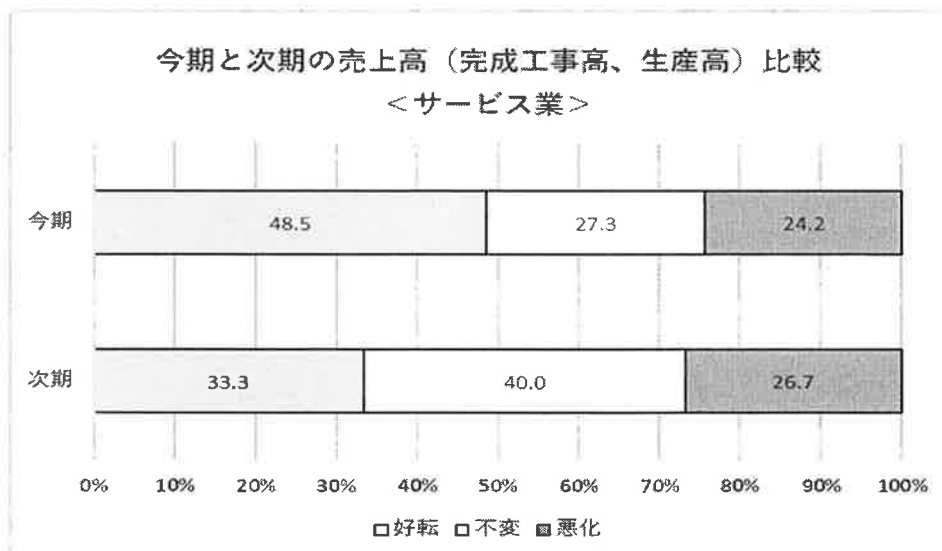


☁️
▲ 6.9
☂️
▲ 25.0

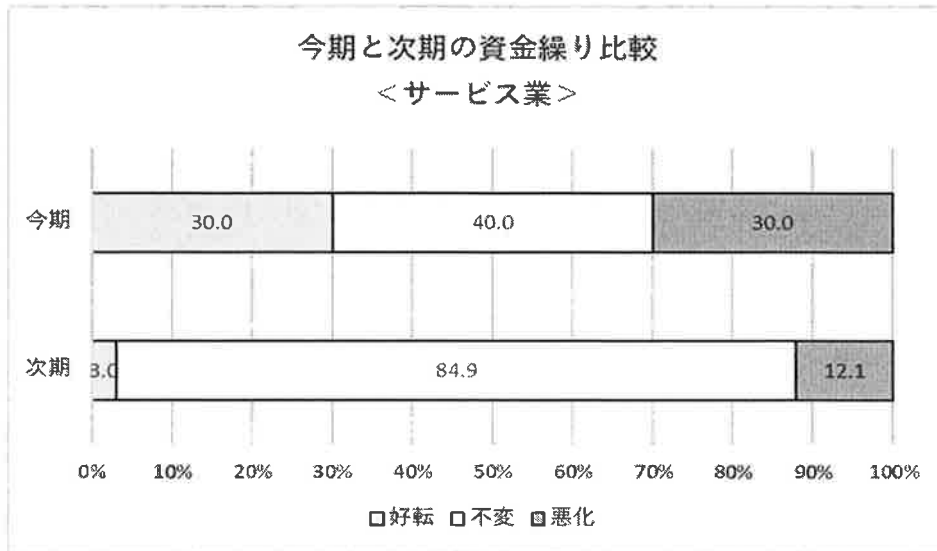
サービス業



☁️
15.6
☂️
▲ 24.2



☁️
24.3
☁️
6.6

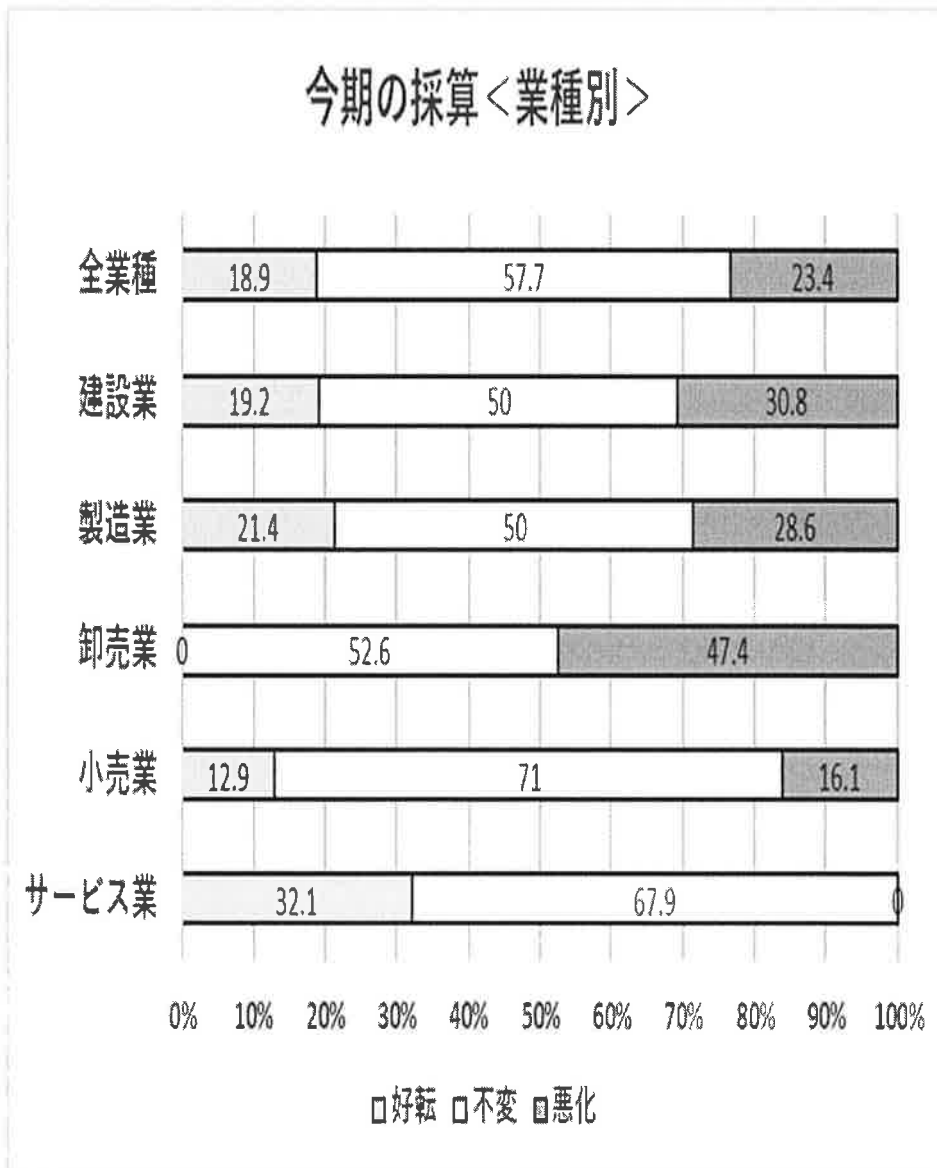


0.0



▲9.1

3-3. 採算



▲4.5



▲11.6



▲7.2



▲47.4



▲3.2



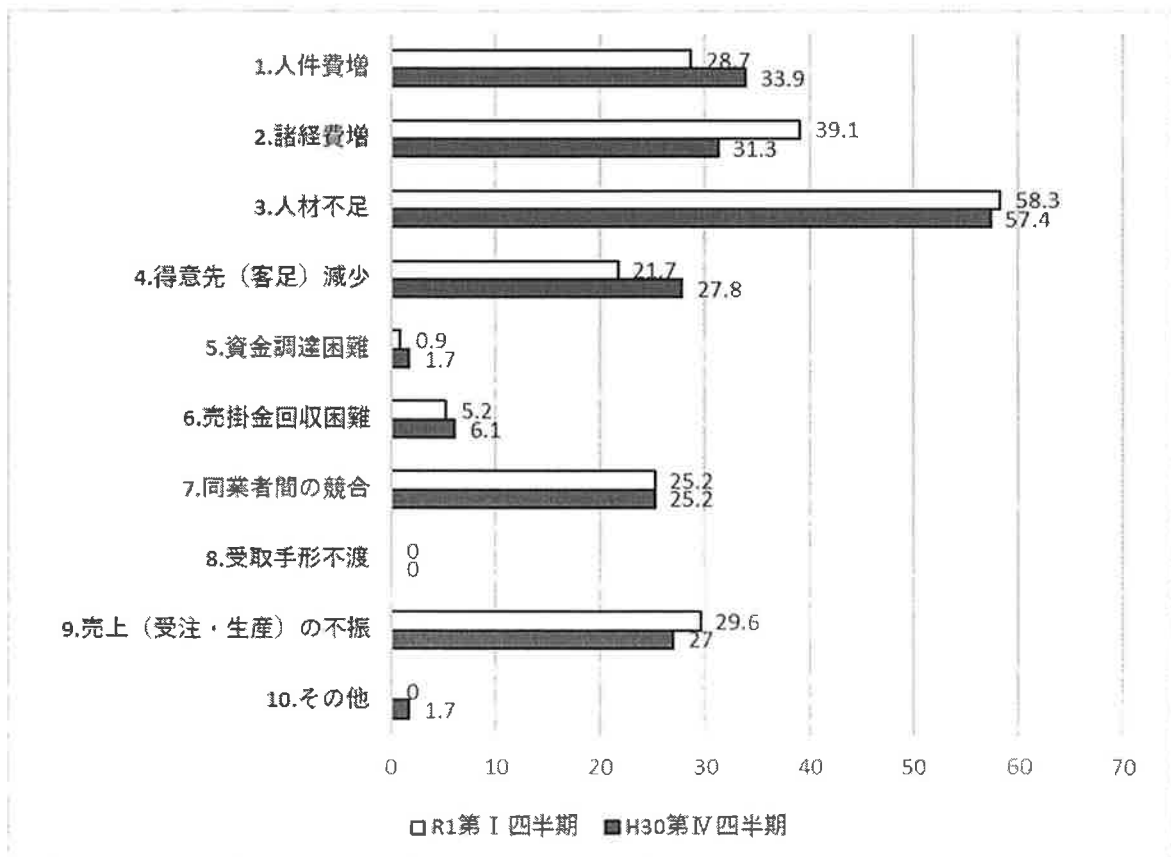
32.1

第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	諸経費増	売上の不振	同業者間の競合	人件費増 得意先減少
製造業	諸経費増	人材不足	人件費増	売上の不振	同業者間の競合
卸売業	人材不足 同業者間の競合	得意先減少	売上の不振	人件費増	諸経費増
小売業	人材不足	同業者間の競合 売上の不振	人件費増 諸経費増 得意先減少	売掛金回収困難	売上の不振
サービス業	人材不足	人件費増	得意先減少 売上の不振	諸経費増	同業者間の競合 得意先減少
合計	人材不足	得意先減少 売上の不振	諸経費増	人件費増 同業者間の競合	資金調達困難

4-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資状況	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	2件	8.7	6件	35.3	3件	20.0	4件	13.8	10件	33.3	25件	21.9
してない	21件	91.3	11件	64.7	12件	80.0	25件	86.2	20件	66.7	89件	78.1
無回答	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0
合計	23件	100.0	17件	100.0	15件	100.0	29件	100.0	30件	100.0	114件	100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	0件	0件	1件	0件	1件	2件
店舗	0件	0件	0件	1件	3件	4件
販売設備	0件	0件	1件	0件	0件	1件
車両運搬具	2件	2件	2件	2件	2件	10件
付帯設備	0件	2件	0件	0件	3件	5件
OA機器	0件	0件	1件	1件	1件	3件
福利厚生施設	0件	0件	0件	0件	0件	0件
その他	0件	2件	0件	1件	2件	5件
合計	2件	6件	5件	5件	12件	30件

※複数回答があるため、表5-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(4件記述あり)

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・ 相変わらず人材不足で困っています。
- ・ 建設業で降雪地域でも12ヶ月工事ができる対策が必要。3月末、年度内という考えをやめる。

【製造業】

- ・ 今年から用紙、資材が10~20%値上げとなり価格に転嫁が進まない。
- ・ 原料不足による生産コストの上昇。

【小売業】

- ・ 9月までは消費税UP前なので売上増が見込まれるが10月~11月は反動が大きいと思われる。
- ・ 九州の大雨による被害(客減少)、エバン航空ストライキ(客減少)

【サービス業】

- ・ 物価がどんどん上昇してきています。値上げすることも簡単に出来ず。
- ・ 災害発生の起因による受注減少。働き方改革に伴う有給取得及び年間公休数増加にて生産性の低下。
- ・ 5月の10連休の影響あり。稼働日数減で売上減。地元での消費減。
- ・ 期待されたGW10連休は前半、後半とバラけた為か売上増には繋がらなかった。しかしながら地元客の利用が頭打ちが続く中、インバウンドを中心とした対策が急務と感じる。宿泊施設との連携・SNSの活用など。
- ・ 6~7月中、自宅部分の増築工事を行っており施術室に接する工事の時、約3週間休業したため売上が大きく下がっている。
- ・ 得意先の信用度。